

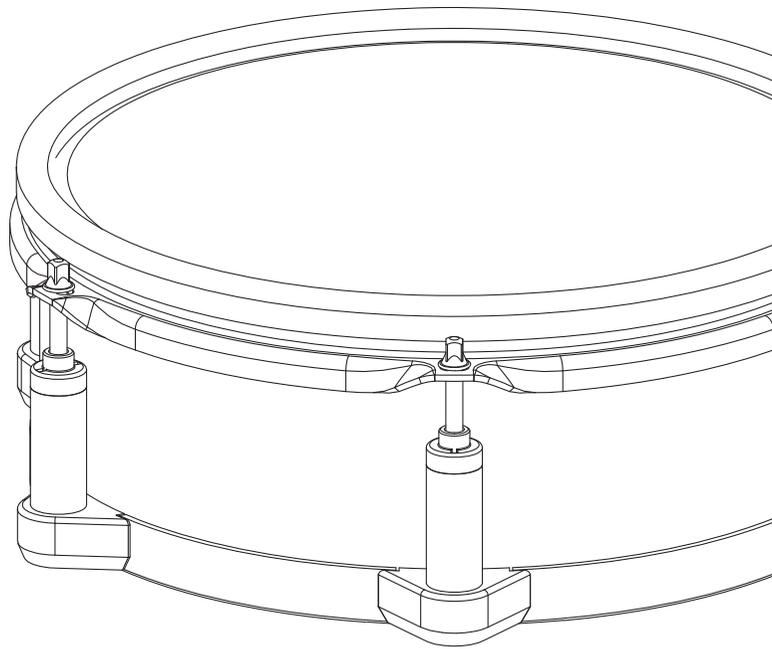
PD-128S

PD-128

PD-108

V-Pad

取扱説明書



Roland



* 5 1 0 0 0 2 5 6 4 4 - 0 2 *

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

分解や改造をしない

本機を分解したり（取扱説明書に記載されている指示（P.8）を除く）、改造したりしないでください。



個人で修理や部品交換はしない

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



指定のスタンドを使用する

この機器の設置には、ローランドが推奨するスタンド（MDSシリーズ）または、5ページに記載の条件を満たした市販のスネア・スタンドを使用してください。



警告

不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド（MDSシリーズまたは市販のスネア・スタンド）を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置しないでください。安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。



お子様の取り扱いに注意する

お子様のいる場所で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないでください。



注意

コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お客様の手が届かないように配慮してください。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

本機の上に乗ったり、機器の上に重いものを置いたりしないでください。



移動するときは音源モジュールとの接続をはずす

本機を移動するときは、外部機器との接続をはずしてください。



小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪くて飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 取りはずしが可能な部品
チューニング・ボルト、ワッシャー、クリップ、カバリング固定ネジ

使用上のご注意

設置について

- 直射日光の当たる場所や発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品を長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

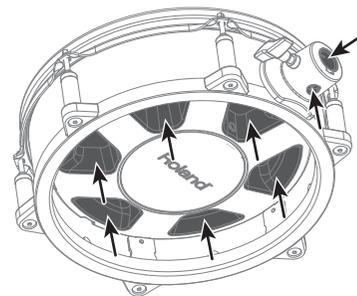
修理について

- お客様が本機を分解（取扱説明書に記載されている指示を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎた後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じた振動は意外によく伝わります。隣近所に迷惑がかけられないように注意しましょう。
- 輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

- スネア・スタンドは三脚によって支えられています。転倒を防ぐため、設置時には三脚を十分に開いてご使用ください。
- ゴム部品には、性能維持のために劣化防止剤などを添加してあります。時間経過に伴い、これらの添加剤が表面に現れて、白く汚れたように見えたり、製品検査時のスティック痕が見えたりする場合がありますが、製品の性能や機能には影響ありませんので、安心してお使いください。
- 図の矢印部分に手や指を入れないでください。けがをしたり、部品が破損する恐れがあります。



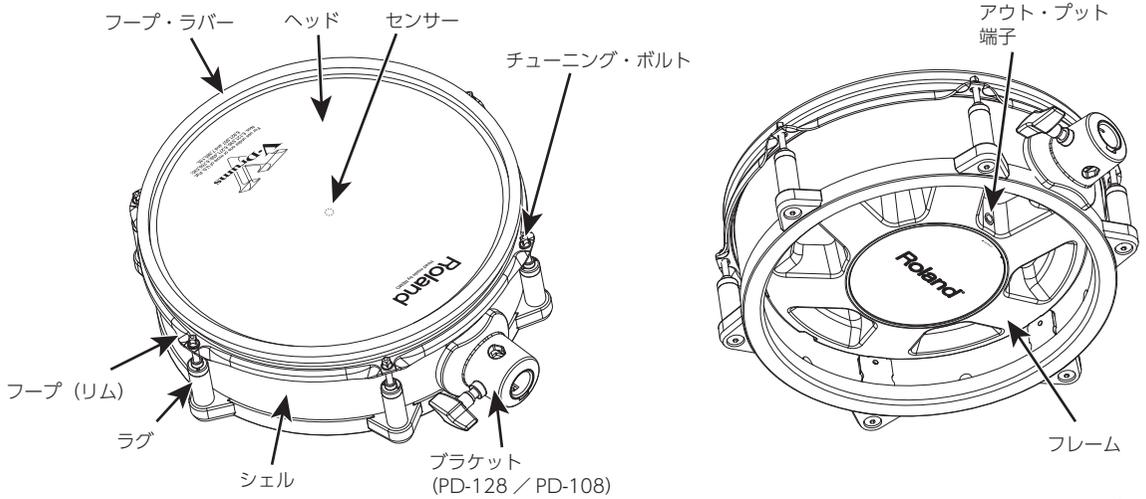
本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』(P.2)と『使用上のご注意』(P.3)をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

はじめに

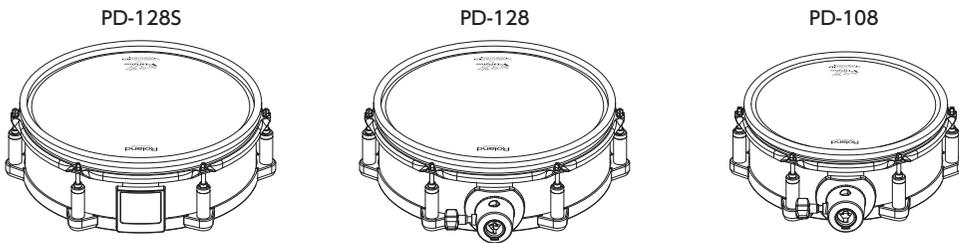
主な特長

- 打感触と静粛性に優れたメッシュ素材を使用したスネア用パッド PD-128S、タム用パッド PD-128 / 108 です。
- 叩いたダイナミクスを的確に検出し、リム・ショットやブラシの演奏にも対応しています。
- V-Drums 用のドラム・スタンドと市販のタム・スタンド（垂直ロッド・タイプ、水平パイプ・タイプ P.5）に取り付けが可能です（PD-128 / 108 のみ）。
- 簡単にカバリングを交換できますので、好みのシェル・デザインに変更できます。

各部の名称



- PD-128 と PD-108 は口径のみ異なります。機能は同じです。
- PD-128S には、ブラケットがありません。



ご注意!

- ヘッド下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、センサーを破損したりすることがあります。
- センサーの素材の性質上、気温、湿度の変化によってヘッドの打感触やセンサーの感度が変わることがあります。

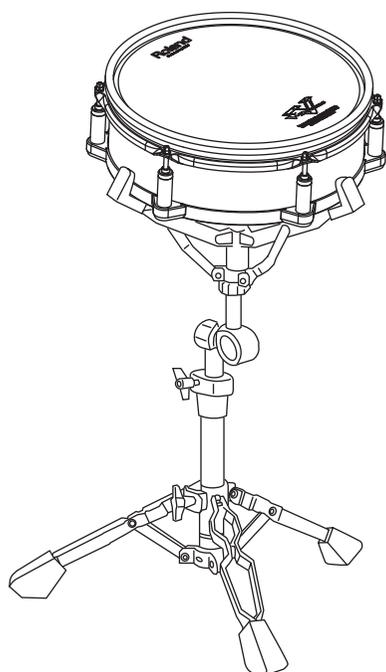
スタンドに取り付ける

PD-128S (スネア専用パッド) をスネア・スタンドに取り付ける

PD-128S はスネア・スタンドに取り付けて使用してください。市販のスネア・スタンドをお使いの際は、12 インチの径をしっかりと固定できるスネア・スタンドをお使いください。

メモ

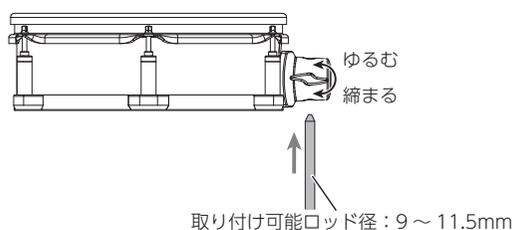
PD-128S は、スネア専用パッドのため、ブラケットがありません。



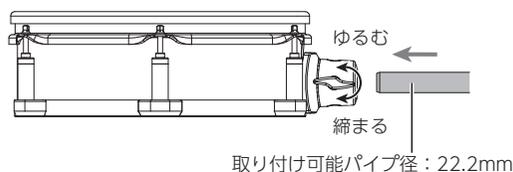
PD-128 / 108 をタム・スタンドに取り付ける

PD-128 / 108 は、垂直ロッド・タイプと水平パイプ・タイプの両方に取り付けることができます。

垂直ロッド・タイプの場合 (別売スタンド：MDS シリーズなど)



水平パイプ・タイプの場合



PD-128 / 108 をスネア・スタンドに取り付ける

市販のスネア・スタンドをお使いの際は、それぞれのパッドの口径に合わせ、しっかりと固定できるスタンドをお選びください。

メモ

ブラケットの固定用ノブをしっかりと締めてください。ゆるんでいると、パッドを叩いた衝撃でノイズが発生することがあります。

ドラム音源と接続する

付属のステレオ・ケーブルを使って、ドラム音源と接続します。

接続ケーブルのL型になっているプラグをパッドのアウトプット端子に接続します。

モノラル・ケーブルを使った場合は、リム・ショットの音が鳴りません。

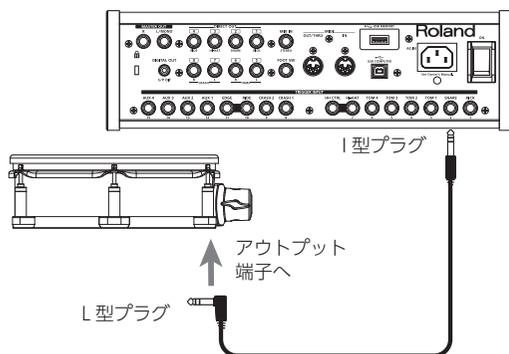
メモ

リム・ショットに対応している各音源のトリガー・インプットについては次の表をご覧ください。

ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。

例：音源モジュール TD-30



音源のトリガー・パラメーター設定

各音源と奏法対応表

	ヘッド・ショット	リム・ショット	クロス・スティック	ヘッドの打点位置検出	リム・ショットのニュアンス	ブラシ・スウィープ
TD-30						
TD-20X	○	○	○	○	○	○
TDW-20						
TD-20						
TD-12	○	○	○	○	○	○
TD-9	○	○	○	×	×	×
TD-4	○	○	○	×	×	×

メモ

詳しくはドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

推奨パラメーター設定

PD-128S / 128 / 108 を各音源でご使用になるときのトリガー・パラメーターの推奨設定値です。

PD-128S / 128 / 108 の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。設定方法は、各音源の取扱説明書をご覧ください。

TD-30	
機種名	トリガー・タイプ
PD-128S	PD128
PD-128	PD128
PD-108	PD108

- リム・ショットが可能な TRIGGER INPUT : SNARE、TOM1 ~ 4、AUX1 ~ 4
- クロススティックが可能な TRIGGER INPUT : SNARE
- ヘッドの打点位置検出が可能な TRIGGER INPUT : SNARE、TOM1 ~ 4、AUX1 ~ 4

TD-20X / TDW-20 / TD-20	
機種名	トリガー・タイプ
PD-128S	PD125
PD-128	PD125
PD-108	PD105

- リム・ショットが可能な TRIGGER INPUT : SNARE、TOM1 ~ 4、AUX1 ~ 4
- クロススティックが可能な TRIGGER INPUT : SNARE
- ヘッドの打点位置検出が可能な TRIGGER INPUT : SNARE

TD-12	
機種名	トリガー・タイプ
PD-128S	PD125
PD-128	PD125
PD-108	PD105

- リム・ショットが可能な TRIGGER INPUT : SNARE、TOM1 ~ 3、AUX1 ~ 2
- クロススティックが可能な TRIGGER INPUT : SNARE
- ヘッドの打点位置検出が可能な TRIGGER INPUT : SNARE

TD-9	
機種名	トリガー・タイプ
PD-128S	PD125
PD-128	PD125
PD-108	PD105

- ・ リム・ショットが可能な TRIGGER INPUT :
SNARE、TOM1 ~ 3、AUX
- ・ クロススティックが可能な TRIGGER INPUT :
SNARE

TD-4	
機種名	パッド・タイプ
PD-128S	PD-125
PD-128	PD-125
PD-108	PD-105

- ・ リム・ショットが可能な TRIGGER INPUT :
SNARE
- ・ クロススティックが可能な TRIGGER INPUT :
SNARE

ヘッドの張り具合を調節する

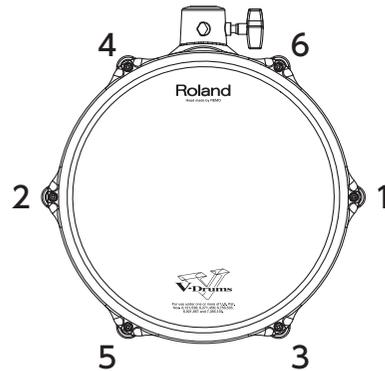
ご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合を調節してください。

張り具合は、アコースティック・ドラムの打感触と同じくらいが適切です。

誤動作の原因となりますので、以下の点に注意してください。

ご注意!

- ・ ヘッドにたるみがないように調節してください。
- ・ チューニング・ボルトにがたつきがないように調節してください。



1. それぞれのチューニング・ボルトを少しずつ、図のように対角線を結ぶ順に調節してください。

ご注意!

1箇所のみチューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感触が得られなくなるだけでなく、誤動作の原因にもなります。

2. ヘッドの張り具合が均等になるように、各チューニング・ボルトの締め具合を調整します。

メモ

- ・ ヘッドの張り具合の調節は打感触の調節を行うもので、アコースティック・ドラムのように音の高さ(ピッチ)を調節するものではありません。ピッチの調節は、ドラム音源の音色エディットで行います。詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- ・ 長く使っているとヘッドの張り具合が変わることがあります。必要に応じて調節しなおしてください。

ヘッド、フープ・ラバーの交換について

ヘッドやフープ・ラバーは、使っている年月とともに性能が劣化する消耗部品です。ヘッド面やフープ・ラバーが破れたり、ヘッドの張り具合を正しく調節してもヘッド面にたるみが残るような場合は、ヘッドやフープ・ラバーを交換してください。

交換用ヘッドのお求めやフープ・ラバーの交換は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

ヘッドを交換する

ご注意!

ヘッドの下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、破損したりすることがあります。

1. すべてのチューニング・ボルトを取り外します。
それぞれ、少しずつ反時計方向に回してゆるめてください。

2. フープと古いヘッドを取り外します。

3. 新しいヘッドとフープをシェルにのせます。

4. チューニング・ボルトを6箇所すべて取り付けます。

5. ヘッドの張り具合を調節します。

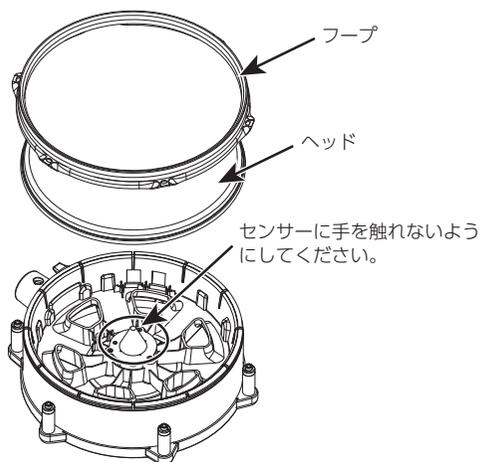
前項の『ヘッドの張り具合を調節する』を参照してください。

カバリングを交換する

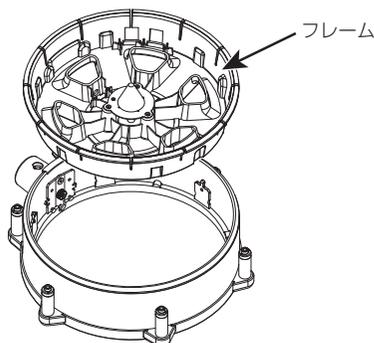
ご注意!

- ヘッドの下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、破損することがあります。
- 金属部品の角や先端で指などにけがをしないように、十分にご注意ください。

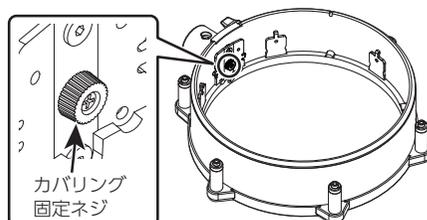
1. すべてのチューニング・ボルトをゆるめ、フープとヘッドを取り外します。



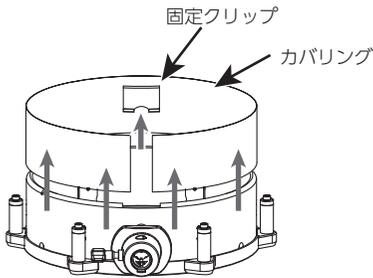
2. フレームを取り外します。



3. カバリング固定ネジをお手持ちのプラス・ドライバーで2回転ほどゆるめます。

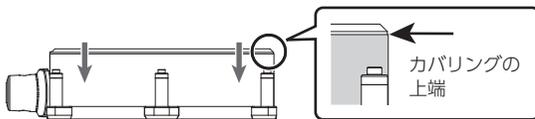


4. 固定クリップを上引き抜き、カバリングを取り外します。

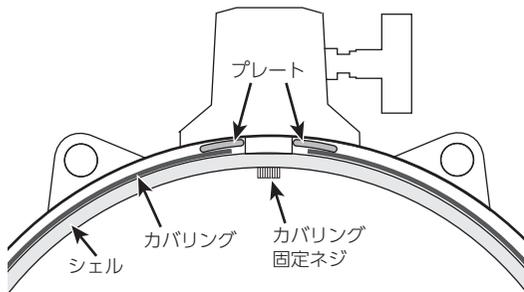


5. 新しいカバリングをはめ込みます。

カバリングの上端が図の位置にくるように、カバリングの下部をゴムの溝にはめ込みます。



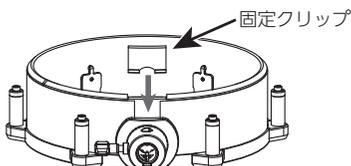
カバリングの両端は、シェルとプレートの間にはさみます。



6. 全体にたるみがないように、カバリングの両端を引っ張りながら、カバリング固定ネジを手で仮り締めします。

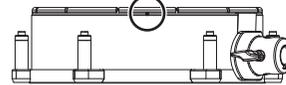
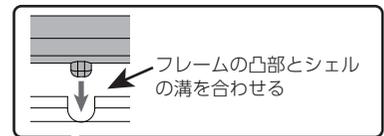
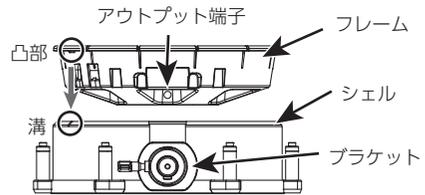
7. ドライバーでカバリング固定ネジを締めます。

8. カバリングの両端をはさむように、固定クリップを取り付けます。



9. フレームをシェルにはめ込みます。

フレームのアウトプット端子がブラケット側になる向きに取り付けてください。



10. フープとヘッドを取り付けて、チューニング・ボルトを締めます。

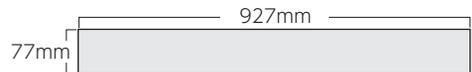
11. ヘッドの張り具合を調節します。

『ヘッドの張り具合を調節する』(P.7) を参照してください。

カバリングのサイズ

PD-128S / 128

・ 77 (幅) × 927 (長さ) mm



・ 厚さ：1mm 以内

PD-108

・ 77 (幅) × 767 (長さ) mm

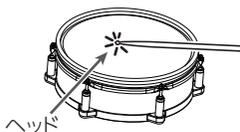


・ 厚さ：1mm 以内

奏法について

ヘッド・ショット

ヘッド部を叩きます。特定のスネア音色では、ヘッド部の打点位置に応じて音色のニュアンスが変化します。

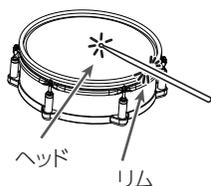


メモ

対応する音色については、TD-30 / TD-20X / TDW-20 / TD-20 / TD-12 の取扱説明書をご覧ください。

リム・ショット

ヘッド部とリム部を同時に叩きます。ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。



クロス・スティック奏法

リム部のみを叩きます。特定の音色では、リム・ショット奏法時にはリム音色、クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色というように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けることができます。



ご注意!

クロス・スティック演奏をするときは、ヘッドに手を置かないようにしてください。ヘッドに手を置くとクロス・スティック奏法が確実にできません。

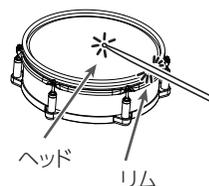
リム・ショットのニュアンスによる音色変化

TD-30 / TD-20X / TDW-20 / TD-20 / TD-12 をご使用の場合のみ

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩きかたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

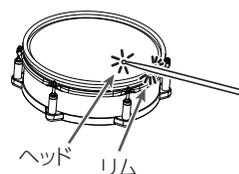
通常のリム・ショット (オープン・リム・ショット)

ヘッド中心部とリム部を同時に叩きます。



浅いリム・ショット (シャロウ・リム・ショット)

ヘッドのリムに近い部分とリム部を同時に叩きます。



メモ

- 対応する音色については、TD-30 / TD-20X / TDW-20 / TD-20 / TD-12 の取扱説明書をご覧ください。
- リム・ショットに対応している各音源のトリガー・インプットについては 6 ページをご覧ください。

主な仕様

PD-128S
PD-128
PD-108:Vパッド

	PD-128S	PD-128	PD-108
パッド・サイズ	12 インチ	12 インチ	10 インチ
トリガー	2 (ヘッド、リム)		
ブラケット	なし	あり	あり
外形寸法	358 (幅) × 322 (奥行) × 117 (高さ) mm	358 (幅) × 368 (奥行) × 117 (高さ) mm	307 (幅) × 317 (奥行) × 117 (高さ) mm
質量	3.0kg	3.4kg	3.0kg
付属品	取扱説明書、接続ケーブル (*1)、ドラム・キー (*1)、保証書 (*1) *1 PD-128S / 128 / 108 を単品でお買い上げの場合のみ付属しています。		
別売品	—	パッド・マウント (MDH シリーズ)、スタンド (MDS シリーズ)	

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Q&A、チャットサポート、メール、電話でのお問い合わせ

Roland製品

https://roland.cm/roland_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



'21. 04. 01 現在